



(写真) Cayetana Álvarez 西下院議員 “9月10日 西下院議会 ゴンサレス候補の当選認識について議論”

## 2024年9月9日（月曜）

### 政治

「[ゴンサレス候補 自身の亡命について声明発表](#)

～政治活動を続ける意思があるか不透明～

「[マドゥロ大統領 ゴンサレス候補亡命に言及](#)

「[ゴンサレス候補亡命に関する報道](#)

～“野党にとって打撃”との報道が主流～

「[マドゥロ政権 オランダ大使館に抗議](#)

「[コロンビア外相 MCM 氏の亡命に言及](#)

### 経済

「[中銀 8月のインフレ率は先月比1.4%増](#)

「[カベジヨ内務相 ドミ共に3.5億ドル返済要請](#)

## 2024年9月10日（火曜）

### 政治

「[ゴンサレス候補亡命 スペイン国内問題に](#)

～西議会 ゴンサレス候補の当選を承認か～

「[マドリッドでゴンサレス候補支持の政治集会](#)

「[米 マドゥロ政権に投票結果の即時公表要請](#)

～必要と考えれば迷わず制裁を科す～

### 経済

「[CITGO 競売 新規訴訟者の増加に苦慮](#)

「[OPEC 8月産油量は日量87.4万バレル](#)

### 社会

「[日本のアレパ店 現地でも報じられる](#)

2024年9月9日（月曜）

## 政治

「ゴンサレス候補 自身の亡命について声明発表  
～政治活動を続ける意思があるか不透明～」

9月9日 スペインに亡命したエドムンド・ゴンサレス候補は自身のソーシャルメディアに声明文を公表した。内容は以下の通り。

親愛なるベネズエラ国民へ

私はベネズエラを去り、スペインへ移動することを決めた。スペイン政府に対して私を保護し、受け入れてくれたことを心から感謝する。同時に在ベネズエラ・オランダ大使館に対しても同様の感謝の意を伝えたい。

私はベネズエラで検討し、今回の決断に至った。我々の最終目的地は苦しみや紛争であってはならない。私は、現状に対して強い怒りや緊張を感じているベネズエラ国民や私の家族について考えた。

周知の通り、私は常に民主主義と平和と自由の価値を守ってきた。私の約束は個人的な野心に基づいたものではなく、人々に手を差し伸べるためのものである。

私は恨みとともに生きることを望んでいない。政治的な対話のみが、私たちを同胞として結びつけることができると考えている。民主主義と民意だけが、我々の国と未来を前進させる道であり、それこそが私が尽力していくことだと考えている。

私を支援し、自由を拘束された人々のことを考える。彼らの自由が私の最優先事項であり、放棄できない要求である。

私を支えてくれたベネズエラ国民と世界と私の家族に対して感謝の意を示したい。

この選挙プロセスを主導してくれたマリア・コリナ・マチャド氏と統一プラットフォームの努力と遂行してきた仕事を称えたい。

エドムンド・ゴンサレス・ウルティア  
2024年9月9日

この声明文では

「拘束された政治犯の解放に引き続き尽力する」と理解できるような内容が書かれているが、

「正当な選挙結果を受け入れさせるため、引き続きマドゥロ政権と対峙する」という今後の政治方針を連想させるような記述はない。

また、この種の声明文は通常「今後も政権交代のために戦いを続ける」で結ぶものだが、ゴンサレス候補の声明文は「関係者のこれまでの努力に感謝」という結びになっている点も気になる。

この声明文を読んで、スペインに亡命したゴンサレス候補が今度どれほどベネズエラの問題に関与し続けるかは不透明な印象を受けた。

「マドゥロ大統領 ゴンサレス候補亡命に言及」

9月9日 マドゥロ大統領は、エドムンド・ゴンサレス候補のスペイン亡命について見解を表明した。

「7月29日以降激しく対立したゴンサレス大使（ゴンサレス候補は過去アルゼンチン大使を務めたことがある）について、私に起きたことを理解し、配慮している。彼の決断を尊重する」と言及。

また「彼の新たな人生が良いものになることを望んでいる」「彼の望む平和と調和の目的が達成されることを確信している」

「我々は潔白に選挙で争い勝利した」「平和が勝利した」「現在のベネズエラは平穏であり、今回の一件を称賛している」とコメントした。

なお、ゴンサレス候補の亡命に当たり、スペイン政府とマドゥロ政権との間で何らかの交渉が行われたことは明らかだが、どのような交渉があったのかについては言及しなかった。

### 「ゴンサレス候補亡命に関する報道

#### ～“野党にとって打撃”との報道が主流～

ゴンサレス候補のスペイン亡命を受けて、様々なメディアが彼の亡命の影響について報じている。

報道の内容は、各メディアの政治思想を反映した部分が多いが、野党にとって打撃になると論じるメディアが多いように思える。

米国紙「The New York Times」は、ゴンサレス候補の亡命について「野党にとって打撃」と報道。

ゴンサレス候補により平和的な政権交代を期待する雰囲気があったが、今回の亡命により、その可能性は大きく減少し、野党が執れるオプションが減ったと報じている。

ゴンサレス候補の政治集会に参加していた一般人（60歳）は、ゴンサレス候補の亡命を知り気絶しそうになったという。「今後、我々はどうなる」「船が座礁したような気分だ」とコメントした。

他のベネズエラ一般人（28歳）は

「ここに残り、選挙による政権交代の最後のチャンスにかけた全ての人々が見捨てられたような気分だ」

「国を見捨てた当選大統領と共に何を守るために戦い続けることが出来るだろうか」

とコメントしたという。

悲観的な意見もあれば、今後も政権交代の試みは続くとする報道もある。

スペイン紙「El Pais」は、「ゴンサレス候補の亡命は、政権交代のためのマドゥロ政権との交渉の中断を意味しない」と報道。

「マドゥロ大統領が選挙で敗北したと認識する人は多く、ほぼ確実であり、ラテンアメリカ諸国および米国が選挙結果を認めるように働きかけている」と報じた。

### 「マドゥロ政権 オランダ大使館に抗議」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1113](#)」でも触れたが、ゴンサレス候補は大統領選後、1カ月以上も在ベネズエラ・オランダ大使館に保護されていたという。

マドゥロ政権はこの事実をオランダ大使館から知らされておらず、マドゥロ政権はこの点についてオランダ大使館に抗議文を送った。

抗議文は、9月9日にベネズエラ外務省の Coromoto Godoy 欧州担当次官から、オランダ大使館の Robert Schuddeboom 商務官に手交されたという。

Godoy 欧州担当次官は「オランダ大使館に対して、オランダ外交官による違法な介入行為についての抗議文を提出した」「オランダは非友好的で傲慢な態度をとった」と説明している。

## 「コロンビア外相 MCM 氏の亡命に言及」

コロンビアの Luis Gilberto Murillo 外相は、エドムンド・ゴンサレス候補のスペイン亡命について「残念に思っている」と言及。

一方で、「ベネズエラに政治的な平和をもたらすための対話メカニズムの進展を擁護する」とコメント。

現在の野党のリーダー格であるマリア・コリナ・マチャド氏(以下 MCM)の亡命を受け入れる用意があるとコメントした。

「(MCM 氏の亡命について)我々は受け入れる意思がある」「コロンビアには約300万人の移住者がいる」「これはコロンビア社会の価値と約束を証明している」と発言した。

実際のところ、MCM 氏が亡命するとすれば米国でありコロンビアではないだろう。

Murillo 外相の発言が現実のものになるとは思えないが、これまでタブー視されていた MCM 氏の亡命について外国政府が発言した意味は大きい。

仮に MCM 氏も亡命するようなことになれば、ベネズエラ国内に残るのは主要野党になり、マドゥロ政権との対話が再開するというシナリオが現実味を増すだろう。

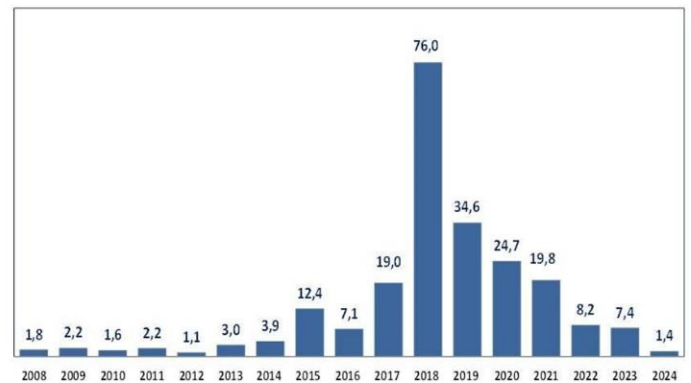
## 経 済

### 「中銀 8月のインフレ率は先月比1.4%増」

9月9日 ベネズエラ中央銀行は、24年8月のインフレ率を公表。中央銀行によると、24年8月のインフレ率は先月比1.4%増だった。

8月のインフレ率としては、過去2008年～24年までの17年間で2012年に続き2番目に低い数字になる(下グラフ)。

Índice Nacional de Precios al Consumidor (INPC)  
Variación Intermensual del mes de agosto  
Años: 2008 a 2024  
(%)



(写真) ベネズエラ中央銀行

また、2024年1～8月までの累積インフレ率は11.2%。2023年9月～24年8月までの12カ月分のインフレ率は35.55%となっている。

分野別のインフレ率では、「教育サービス」が最も高く先月比3.2%増。次いで「食料・非アルコール飲料」が同2.1%増。

その後、「アルコール飲料・たばこ」が同1.7%増、「医療」が同1.5%増、「衣類・皮革製品」が同0.9%増、「家具」が同0.9%増と続いた。

## 「カベジョ内務相 ドミ共に3.5億ドル返済要請」

ディオスダード・カベジョ内務司法相は、ドミニカ共和国に対して、同国がベネズエラに抱えている原油債務3.5億ドルを支払うよう求めた。



「Abinader（ドミニカ共和国の大統領）、ベネズエラ国民について発言する前にベネズエラに対して負っている3.5億ドルの債務を返済しろ」と発言。

カベジョ内務司法相の発言は、ドミニカ共和国が米国に対してベネズエラの大統領専用機を引き渡した事に端を発するもの（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1111](#)」）。

この発言に対して、Abinader 大統領は

「ドミニカ共和国が最後にベネズエラから原油を輸入したのは2015年12月」とコメント。「私が大統領になって以降、ベネズエラからは1ガロンも原油を輸入していない」と反論した。

なお、この発言はその後修正され、2017年2月にベネズエラから1度ディーゼル燃料を輸入していたようだ。ただし、Abinader 大統領は2020年から大統領に就任しており、Abinader 政権下ではベネズエラから一切原油を輸入していない。

ただし、Abinader 大統領の発言は「ドミニカ共和国がベネズエラに対して3.5億ドルの債務を負っているかどうか」についての明確な回答ではない。

ベネズエラとドミニカ共和国が結んでいた原油取引協定は「ペトロカリベ」の枠組みで、最大25年かけて返済する仕組みになっている。

つまり、ドミニカ共和国が2015年以前にベネズエラから輸入した原油の支払いをしていない可能性はありそうだ。

2024年9月10日（火曜）

## 政治

「ゴンサレス候補亡命 スペイン国内問題に  
～西議会 ゴンサレス候補の当選を承認か～」

ゴンサレス候補の亡命は、スペインの国内問題に発展している。

現在、スペイン議会（上院・下院）は野党である中道右派の「国民党（PP）」が多数派を占めており、中道左派「スペイン社会労働党（PSOE）」のサンチェス政権と対立している。

PSOE はマドゥロ政権と対立しないような外交姿勢をとっているが、PP はマドゥロ政権と敵対関係にあり、両政党はベネズエラ問題で度々衝突する。

なお、PP にはマドゥロ政権に拘束された野党「大衆意思党（VP）」のレオポルド・ロペス党首の父親であるレオポルド・ヒル氏が議員として活動していることもあり、PP にとってベネズエラ問題は他国の案件ではない。

9月10日 今回のゴンサレス候補の亡命を受けて、スペイン下院議会は、ゴンサレス候補をベネズエラの当選大統領と認識する趣旨の議論を実施。

9月11日には、下院議会でエドムンド・ゴンサレス氏をベネズエラの当選大統領と認識するための決議を行う予定で、この決議はPP議員の賛成多数で承認される見通しだという。

一方、サンチェス政権はスペイン議会の動きを警戒。サンチェス政権のPilar Alegría報道官は、PPの対応について「欧州全体で統一した決定を分裂させようとする動きであり完全に無責任」と指摘。PPの対応を批判している。

## 「マドリッドでゴンサレス候補支持の政治集会」

9月9日 マリア・コリナ・マチャド氏は、スペインのマドリッドに住むベネズエラ人に対して、ゴンサレス候補への連帯を示すための政治集会に参加するよう要請。

9月10日に行われた政治集会には多くのベネズエラ移民らが参加した。

今回の政治集会はPPと連携したもので、同イベントにはスペイン議会でゴンサレス候補の当選議題をリードしている Cayetana Álvarez de Toledo 下院議員も出席。他、スペインに亡命しているレオポルド・ロベスVP党首らも出席した。



(写真) @ConVzlaComado “スペインの政治集会の様子”

また、MCM氏は外国政府に対してゴンサレス候補の当選を認めるよう求めており、そのための抗議行動を各国で行うよう要請。

ペルー、アルゼンチン、ウルグアイ、サントドミンゴ、コロンビア、チリ、メキシコ、米国、オランダ、オーストリア、英国、エルサルバドル、エクアドル、パナマなどで政治集会の実施を発表している。

## 「米 マドゥロ政権に投票結果の即時公表要請 ～必要と考えれば迷わず制裁を科す～」

9月10日 米国バイデン政権の John Kirby 報道官(国家安全保障問題担当)は、記者会見を実施。

マドゥロ政権に対して、投票結果の詳細を即時公表するよう要請した。

「我々が求めていることはマドゥロが正しいことをすることだ」「ベネズエラ国民の意志を確認するために投票結果を公表しなければいけない」「我々が求めていることは投票結果の開示である」と述べた。

また、記者から新たな制裁を科す可能性について質問されると

「我々はこれまでマドゥロ政権に制裁を科してきた」  
「必要だと考えれば迷わず制裁を科すだろう」  
「しかし、それよりも先に我々はマドゥロに正しいことをするよう求めている」  
「野党への迫害を停止し、選挙結果を公表することだ」と回答した。

## 経 済

### 「CITGO 競売 新規訴訟者の増加に苦慮」

「ロイター通信」は、CITGOの競売プロセスの監視役を務めている訴訟専門家が、デラウェア州裁判所の判事に対して、新たな債権者の参入を止めるよう求めたと報じた。

現在、ベネズエラ政府・PDVSAは債務不履行状態にあり、多くの債権者が債権回収手段を模索している。その中で最も有効とされるのが米国にあるCITGO（正確にはCITGOの持ち株会社PDV Holdings）の競売を通じて債権を回収する手段である。

既に多くの債権者が PDV Holdings の競売で債権を回収することについて裁判所から承認されているが、新たに債権者として名乗りを上げる会社が後を絶たず、競売プロセス進行の妨げになっているという。

具体的には直近で「Gramercy Distressed Opportunity Fund」「G&A Strategic」「Girard Street Investments」の3社が別々に競売参加を求めて訴訟を起こしたという。

競売プロセスは複雑なようで、本来7月に落札者が決まる予定だったが延期されており、9月中に落札者が決まる可能性がある。

Table 5 - 8: OPEC crude oil production based on direct communication, tb/d

Direct communication	2022	2023	4Q23	1Q24	2Q24	Jun 24	Jul 24	Aug 24	Change Aug/Jul
Algeria	1,020	973	958	907	905	906	909	910	1
Congo	262	271	259	252	260	259	257	270	13
Equatorial Guinea	81	55	53	53	60	58	57	..	..
Gabon	191	223	234	..	..	..	..	..	..
IR Iran	..	..	..	..	..	..	..	..	..
Iraq	4,453	4,118	4,123	3,957	3,862	3,834	3,993	3,904	-89
Kuwait	2,707	2,590	2,548	2,413	2,413	2,413	2,413	2,413	0
Libya	..	1,189	1,191	1,149	..	..	..	..	..
Nigeria	1,138	1,187	1,260	1,327	1,270	1,276	1,307	1,352	45
Saudi Arabia	10,591	9,606	8,901	8,979	8,937	8,830	8,941	8,992	51
UAE	3,064	2,944	2,892	2,919	2,928	2,935	2,933	2,935	2
Venezuela	716	783	796	864	904	..	922	927	0
<b>Total OPEC</b>	..	..	..	..	..	..	..	..	..

Notes: .. Not available. Totals may not add up due to independent rounding.  
Source: OPEC

(写真) OPEC

## 「OPEC 8月産油量は日量87.4万バレル」

OPEC は、加盟国の24年8月の産油量を更新した。

OPEC の公表(第三者の専門家)によると、8月のベネズエラの産油量は日量87.4万バレル。先月の日量86.3万バレルから日量12000バレル増えた。

Table 5 - 7: DoC crude oil production based on secondary sources, tb/d

Secondary sources	2022	2023	4Q23	1Q24	2Q24	Jun 24	Jul 24	Aug 24	Change Aug/Jul
Algeria	1,013	973	957	907	905	906	908	909	2
Congo	261	261	251	246	262	260	252	266	13
Equatorial Guinea	84	56	53	54	56	53	57	58	0
Gabon	195	204	216	215	210	211	211	217	7
IR Iran	2,554	2,859	3,154	3,179	3,238	3,250	3,273	3,277	4
Iraq	4,439	4,287	4,324	4,245	4,203	4,186	4,278	4,228	-50
Kuwait	2,704	2,595	2,552	2,430	2,429	2,423	2,414	2,414	-1
Libya	981	1,162	1,170	1,119	1,188	1,194	1,175	956	-219
Nigeria	1,210	1,314	1,381	1,413	1,358	1,369	1,391	1,448	57
Saudi Arabia	10,531	9,609	8,952	9,009	8,976	8,897	9,008	8,983	-25
UAE	3,066	2,950	2,906	2,926	2,934	2,936	2,953	2,958	4
Venezuela	684	749	774	816	837	848	863	874	12
<b>Total OPEC</b>	<b>27,722</b>	<b>27,019</b>	<b>26,690</b>	<b>26,558</b>	<b>26,595</b>	<b>26,535</b>	<b>26,784</b>	<b>26,588</b>	<b>-197</b>

また、ベネズエラ石油省が OPEC に報告した8月の産油量は、日量92.7万バレル。先月の日量92.8万バレルから日量1000バレル減ったことになる。

## 社 会

### 「日本のアレパ店 現地でも報じられる」

以前、記事にしたことがあるが、東京にも「Tokyo Arepa」というキッチンカー(移動型店舗)のアレパ屋が存在する。今回ベネズエラの現地メディアでも報じられていたので改めて紹介したい。

オーナーはベネズエラ人で、日本人の妻と共にアレパ屋を始めた。ベネズエラらしいアレパもあるが、日本人好みにアレンジした食材を入れたアレパなどもある。2022年当時は1日の販売数量は50個ほどだったようだが、今は100個を販売することもあるようだ。

ケータリングなどもやっているようだが、イベント出店が多いようで、出店予定は「Tokyo Arepa」の[ウェブサイト](#)、[インスタグラム](#)などで確認できる。



(写真) Tokyo Arepa

以上